

## 中津川市

中津川は江戸時代（1603-1867）に商人の町として栄えた。中山道の宿場町であり、地歌舞伎のかしも明治座など、伝統文化が色濃く残っている。現在、苗木城と苗木遠山史料館が中津川宿と呼ばれる宿場町と並んで中津川を代表する観光スポットとなっている。

中津川宿は、JR 中津川駅から歩いて 10 分ほどのところにある。江戸時代、江戸と京都を結ぶ中山道の関所だった。かつての街道の面影はほとんど失われてしまったが、この歴史的な地区には当時の街道の一部が保存されている。街道沿いには酒屋、菓子屋、伝統的な木造建築のレストランなどが軒を連ねている。また、中津川宿には中山道歴史資料館があり、町の豊かな歴史にまつわる品々が展示されている。中山道に関する文書、版画、絵画などが展示されている。

市内のその他の見所にはかしも明治座がある。地歌舞伎と呼ばれる地元のアマチュア役者による歌舞伎の舞台として使われている。

人気の景勝地は付知峡である。険しい岩場を滝や清流が流れ、春から晩秋にかけては青々とした紅葉が溪谷を彩る。